



神奈川県
自然環境保全センター

神奈川県

シカ不嗜好性植物図鑑



平成 28 年 3 月

表紙写真 左上：マルバダケブキ 右上：オオバイケイソウ

左下：タンザワイケマ 右下：ホソバテンナンショウ

裏表紙写真 清川村宮ヶ瀬の水源林整備地に繁茂するオオバノイノモトソウ

目次

はじめに	1		
この図鑑の使い方	2		
用語図解	3		
不嗜好性植物	4		
キジノオシダ	5	ガガイモ	32
イワヒメワラビ	6	ハシリドコロ	33
オオバノイノモトソウ	7	ハダカホオズキ	34
オオバノハチジョウシダ	8	メハジキ	35
シキミ	9	テンニンソウ	36
ヒトリシズカ	10	レモンエゴマ	37
フタリシズカ	11	シロヨメナ	38
テンナンショウ類	12	マルバダケブキ	39
オオバイケイソウ	13	キオン	40
ルイヨウボタン	14		
ヤマトリカブト	15	採食耐性植物	41
マルミノヤマゴボウ	16	ヤマカモジグサ	42
ヨウシュヤマゴボウ	17	ヒメノガリヤス	43
ベニバナヤマシャクヤク	18	ウラハグサ	44
ヤマシャクヤク	19	アシボソ	45
ナツトウダイ	20	チヂミザサ	46
ナガバヤブマオ	21	ミヤマクマザサ	47
メヤブマオ	22	タニソバ	48
オニシバリ	23	ハナタデ	49
ミツマタ	24	ミヤマタニソバ	50
マツカゼソウ	25	ヘビイチゴ	51
ミヤマシキミ	26	ミズ	52
オオバアサガラ	27	ヤマミズ	53
アセビ	28	クワガタソウ	54
サワリソウ	29	ヒメチドメ	55
タンザワイケマ	30	アザミ類	56
キジョラン	31		
参考文献	57		
索引	58		

はじめに

全国各地でニホンジカ（以下シカ）の高密度化に伴う植生の衰退が起きています。北海道から鹿児島県屋久島までの主に太平洋側の森林で、樹木の樹皮剥ぎや後継稚樹の成長阻害、多年草の個体数の減少が報告されています。森林内に生育する下草には土壌を保護する効果があるため、下草が少なくなると土壌が流出して水源かん養機能などの森林の公益的機能が低下するおそれがあります。

こうしたことから、シカの生息する地域では森林づくりにおいてその存在に気をつける必要があります。例えば、森林内で下草の少ない原因が照度不足であるのかシカの採食影響であるのかで、その後の取り扱いが異なってきます。このためシカの存在を気かけないで間伐しても思うように下草が増えない場合があります。また、間伐して下草が増えても、そこにシカが集中して、間伐前よりも下草が少なくなることもありえます。

しかしながらシカの影響を事前に判定するのは容易ではありません。シカを見る機会は限られていますし、食痕や糞、足跡などの生活痕跡を見つけても、それらだけではシカによる植物への影響はわかりません。そこで、シカの影響の程度を教えてくださいるのが不嗜好性植物の繁茂状態です。シカの密度がわからなくても、不嗜好性植物の繁茂状況から森林の状態を推測することができます。いわば「森林でシカを見ずしてシカを知る」ということです。

この図鑑は、森林整備や野生動物の保護管理を担当する現場技術者、森林調査に携わる人、森林インストラクター、自然愛好家の方々が植物を通してシカの影響を判断する一助になるように作成したものです。掲載種は36種と少ないものの丹沢山地の代表的な不嗜好性植物が含まれています。また、シカに採食されても再生できる採食耐性植物を15種載せています。この図鑑を通してシカと森林との関係や森林整備、シカの保護管理に興味をもつ人が増えることを期待しています。

2016年3月

神奈川県自然環境保全センター研究連携課

この図鑑の使い方

- 不嗜好性植物と採食耐性植物の判定は、植生保護柵の内外における出現の仕方や野外観察に基づくものです。

不嗜好性植物：シカが全く採食しない、あるいは採食したとしても他の植物よりも相対的に採食の頻度が少ない種。地域によって、あるいは季節によって高頻度に採食されることもある。つまり、ある地域のある季節においてシカが利用できる植物の中で相対的な餌としての重要度が低い種である。

採食耐性植物：シカに採食されることが多いが、採食されても開花結実できたり、枯死せずに生育できたりする種。草本では、生活型でいう一年草や、多年草の中では生育型（次頁参照）でいう、そう生型、匍匐型、分枝型が該当する。

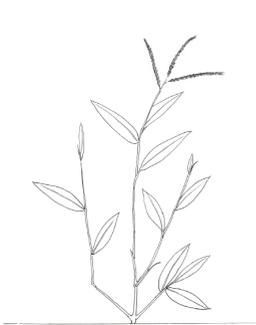
- 種の記載順は不嗜好性種と採食耐性種に区分して、それぞれの中で『植物分類表』（大場編 2009）の科、属の配列としました。
- 同一属内の種の順序は種小名のアルファベット順としました。
- 種名は、和名および学名ともに米倉・梶田による「BG Plants 和名－学名インデックス」に準拠しました。ただし、オオバイケイソウは『神奈川県植物誌 2001』に拠りました。
- 写真はすべて県内の丹沢山地を中心に箱根、小仏山地で撮影したものです。
- 本文の記載は、「県内分布」、「生育環境」、「生活型」、「特徴」を項目立てして、それぞれ『神奈川県植物誌 2001』を参考にしつつ野外観察に基づいて記載しました。
- 希少植物については『神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006』（高桑・勝山・木場編 2006）を参照しました。

用語図解

- 採食耐性植物の理解には「生育型」に着目することが重要なことから、次に載せました。
- 生活型や形態については、他の図鑑や『神奈川県広葉樹実生図鑑』（神奈川県自然環境保全センター 2011）を参照してください。

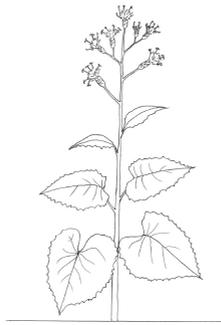
生育型

地上部の形態と生育の様子をいくつかの類型に分けたものです。



そう生型

株をつくり、根際から茎が生えるもの。



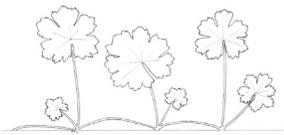
直立型

地上部の主軸がはっきりし、かつ直立しているもの。



分枝型

茎の下部で分枝が多く、主軸がはっきりしないもの。



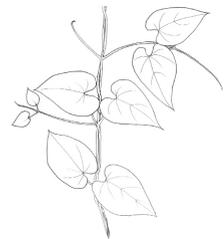
匍匐型

茎が地をはい、節々から根を出すもの。



ロゼット型

放射状の根生葉をだし、花茎に葉がないもの。



つる型

茎が他の植物に巻きついたり、よりかかったりするもの。

不嗜好性植物

キジノオシダ

キジノオシダ科

Plagiogyria japonica Nakai



県内分布：箱根外輪山周辺に多く、他では稀

生育環境：スギ林内

生活型：多年草

特徴：県絶滅危惧Ⅱ類。根茎は塊状で、葉はらせん状にそう生する。葉柄の中肋の裏面は丸く、表面は平らで2本の浅い溝がある。先端には著しい鋸歯がある。下部の羽片は、下側は柄のようにみえるが、上側で中軸に沿っている。上部の羽片は中軸に広くつき、次第に短くなり先端は明瞭な頂羽片となる。

イワヒメワラビ

コバノイシカグマ科

Hypolepis punctata (Thunb.) Mett. ex Kuhn



県内分布：丹沢の高所を除く全域

生育環境：林縁や明るい林内

生活型：多年草

特徴：根茎は長くはい、葉柄下部にかけて淡褐色から茶褐色の毛をもつ。葉身は3～4回羽状で、全体に毛をもつ。孢子囊群は裂片の縁の側につき包膜をもたない。

オオバノイノモトソウ

イノモトソウ科

Pteris cretica L.



県内分布：丹沢の高所を除く全域

生育環境：日の当たる石垣、林内

生活型：多年草

特徴：根茎には茶褐色線形の鱗片がまばらにある。葉柄下部は黒褐色で、稀に中軸まで黒褐色になることもあるが、乾燥するとわら色になる。葉身は単羽状で3～5対の羽片からなり、下部羽片の2対ほどには基部に小羽片が出る。

オオバノハチジョウシダ

イノモトソウ科

Pteris terminalis Wall. ex J.Agardh



県内分布：箱根外輪山から丹沢の山麓部、三浦半島

生育環境：沢沿いの湿った林内

生活型：多年草

特徴：根茎はややはい、葉柄下部にかけて茶褐色披針形の圧着した鱗片をまばらにもつ。葉身は2回羽状で、小羽片は羽軸まで切れ込む。小羽片は羽片の上下でほぼ同長。表面の羽軸と小羽軸の交点付近に突起をもつ。胞子嚢群は小羽片の縁につき、胞子嚢群のない小羽片の先端部には鋸歯がある。

Illicium anisatum L.

県内分布：三浦半島を除く県内全域

生育環境：林内

生活型：常緑の小高木

特徴：有毒植物。葉に芳香がある。葉は革質で光沢があり、側脈や細脈は不鮮明。似ているミヤマシキミ（ミカン科：P26）との区別点は、ミヤマシキミの葉には油点があるが本種には無いことである。丹沢ではモミ林や広葉樹二次林内に多い。霊園や寺院に植栽されることもある。

ヒトリシズカ

センリョウ科

Chloranthus quadrifolius (A.Gray) H.Ohba et S.Akiyama



県内分布：全域

生育環境：丘陵から山地の林内

生活型：多年草

特徴：茎はふつう分岐せず単立し、高さ 20 ～ 30cm。葉は円形から楕円形、長さ 3 ～ 10cm、幅 3 ～ 5cm、先端は急鋭尖、基部は円形から鋭形、表面には光沢がある。

フタリシズカ

センリョウ科

Chloranthus serratus (Thunb.) Roem. et Schult.



県内分布：全域

生育環境：丘陵から山地の林内

生活型：多年草

特徴：茎は通常単立し、高さ 30～50cm、無毛。葉は 2 対、ときには 3 対があるが、輪生状ではない。葉身は楕円形で、長さ 8～15cm、幅 2～8cm、縁には鋸歯があり、質薄く両面とも無毛。

Arisaema.spp.



県内分布：県内で8種が確認されており、冷温帯に分布するものから全域にあるものまでさまざまである。

生育環境：林内

生活型：多年草

特徴：球茎があり、葉柄基部が偽茎をつくる。葉1～2枚で、ほかに根生の膜質の輪状葉が数枚ある。葉は3小葉または鳥足状の複葉。仏焰苞は基部が筒状で花序を包む。上部は葉状またはかぶと状、花序は単性または両性で、軸は太く、先端は棒状、擗棒棍棒状、糸状などに伸びる。

オオバイケイソウ

シュロソウ科

Veratrum grandiflorum Loes.f. var. *maximum* Nakai



県内分布：丹沢、箱根

生育環境：湿った林内

生活型：多年草

特徴：高さ 60 ～ 150cm。葉は裏面に毛状突起がある。花は 7 ～ 8 月、数年おきにいっせいに開花する。花穂は通常直立して、ときに花穂の點頭する系統もある。花被片は長さ 15 ～ 20cm、白色で基部付近に緑色の部分がある。

ルイヨウボタン

メギ科

Caulophyllum robustum Maxim.



県内分布：丹沢

生育環境：林内

生活型：多年草

特徴：県絶滅危惧 I A 類。草丈は 40 ～ 50cm。葉は 3 回 3 出羽状複葉で、中央の小葉には柄があり、側生のものは柄がなくときに 2 劣する。花期は 4 ～ 6 月。外萼片は 2 ～ 6 個で花時には落ち、内萼片は 6 個。花弁は緑黄色で 6 個、蜜腺がある。

ヤマトリカブト

キンポウゲ科

Aconitum japonicum Thunb. subsp. *japonicum*



県内分布：丹沢、箱根

生育環境：林内や林縁、草原

生活型：多年草

特徴：茎は直立からやや斜上する。葉の裂片の切れ込みは変異が大きくさまざま。花柄に粗毛が生える。花期は夏。一般には毒草として有名であるが、丹沢では夏季に本種の葉がシカに採食されていることを見かける。

マルミノヤマゴボウ

ヤマゴボウ科

Phytolacca japonica Makino



県内分布：丹沢、小仏山地

生育環境：林内や林縁

生活型：多年草

特徴：葉は長さ 15 ～ 30cm、幅 5 ～ 10cm。液果は球形で分果の様子は生時には見えない。種子は黒色で光沢がある。花期は 6 ～ 9 月。

ヨウシュヤマゴボウ

ヤマゴボウ科

Phytolacca americana L.



県内分布：丹沢の高所を除く全域

生育環境：空地や路傍

生活型：多年草

特徴：北アメリカ原産。通常、茎や葉柄が紫紅色。葉は長さ10～30cm、幅5～15cm、無毛で柔らかく、美しく紅葉する。花は淡紅色。花序は果時には下を向く。液果は径8～10cmで、分果は約10cm。

ベニバナヤマシャクヤク

ボタン科

Paeonia obovata Maxim.



県内分布：丹沢、小仏山地

生育環境：湿った林内や林縁

生活型：多年草

特徴：県絶滅危惧ⅠA類。花茎は高さ40～80cm。芽だし時は全体が赤褐色に染まる。葉はふつう2回3出複葉で、下面の脈が赤い傾向がある。花弁は淡紅色。柱頭はやや長く渦状に巻く。

ヤマシャクヤク

ボタン科

Paeonia japonica (Makino) Miyabe et Takeda



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：湿った林内

生活型：多年草

特徴：根は肥厚し、根茎は短い。茎は高さ 40～50cm。葉は大形でふつう 2回3出複生し、小葉は長さ 5～12cm、花は白色で1個頂生し、径 4～5cm。

ナツトウダイ

トウダイグサ科

Euphorbia sieboldiana C.Morren et Decne.



県内分布：全域

生育環境：丘陵や山地の林内と草地

生活型：多年草

特徴：高さ 20 ～ 40cm。輪生葉は互生葉と同大またはやや大きく、長楕円形で全縁、長さ 2 ～ 6cm。花は名前に反して早春に咲く。

ナガバヤブマオ

イラクサ科

Boehmeria sieboldiana Blume



県内分布：丹沢、箱根、相模原台地、多摩丘陵

生育環境：林縁

生活型：多年草

特徴：茎は高さ 1 ～ 1.8m。発育のよい株中部の葉は長さ約 25cm、幅 13cm。

日本では倍数体無融合生殖型だけが知られている。

メヤブマオ

イラクサ科

Boehmeria platanifolia (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright



県内分布：丹沢の高所を除く全域。

生育環境：林縁

生活型：多年草

特徴：茎は高さ 1 ～ 2m。発育のよい株中部の葉は長さ約 18cm、幅約 20cm。
アカソとヤブマオの交雑に起源すると推定されている倍数体無融合生殖型である。葉裏主脈の毛が開出する。

オニシバリ

ジンチョウゲ科

Daphne pseudomezereum A.Gray



県内分布：丹沢の高所を除く全域

生育環境：林内

生活型：低木

特徴：秋に新葉が展開し、冬を越して夏季に落葉する（別名ナツボウズ）。

葉は披針形で鮮緑色。両面ともに無毛。雌雄異株。花期は2～3月。

ミツマタ

ジンチョウゲ科

Edgeworthia chrysantha Lindl.



県内分布：県西部

生育環境：スギやヒノキの林内

生活型：低木

特徴：中国～ヒマラヤ原産で、和紙の原料で広く栽培された。枝の多くは3
又し、葉は披針形で、質は薄く、両面に絹毛が密生する。花芽ははじめ
苞があるが、冬の間に落ちる。花は春に葉が開く前に開花し、花序は頭
状で柄が曲がり、うつむく。萼裂片の外面には白色の毛が密生し、内面
は鮮黄色。

***Boenninghausenia albiflora* (Hook.) Rchb. ex Meisn.
var. *japonica* (Nakai ex Makino et Nemoto) Suzuki**



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地、多摩丘陵、三浦半島

生育環境：湿った林内

生活型：多年草

特徴：草丈は 50 ～ 80cm。全体に無毛で粉緑色をしている。葉には全面に油点があり、小葉は全縁の倒卵形または楕円形で大きさはまちまちになる。花期は 8 ～ 10 月。花は両性で円錐花序をなし頂生する。

Skimmia japonica Thunb. var. *japonica*



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：丘陵地林内

生活型：低木

特徴：果実は有毒。茎は直立し、高さは1mを超える。葉は長さ6～12cm、幅2～3.5cmの長楕円形、全縁で上面は光沢があり、下面は黄緑色。雌雄異株。花期は4～5月。花序は枝先に散房状のものが円錐につき全体は半球状になる。花序軸には短毛を散生する。

オオバアサガラ

エゴノキ科

Pterostyrax hispida Siebold et Zucc.



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：溪流沿いや斜面中腹から下部

生活型：高木

特徴：樹皮剥ぎされることもある。枝は折れやすく淡褐色、葉とともにやや無毛。葉腋の向軸側に主芽をその外側に副芽をもつ。若葉には一様な綿毛があり、葉は両面に1～5岐する星状毛がある。葉身は長楕円形で長さ10～25cm、質薄く、下面灰白色。側脈は7～10対くらいある。花期は6月。

アセビ

ツツジ科

Pieris japonica (Thunb.) D.Don ex G.Don subsp. *japonica*



県内分布：丹沢、箱根

生育環境：尾根や斜面上部

生活型：低木

特徴：有毒植物。小枝は平滑、葉は厚く縁にわずかに鋸歯がある。花冠は壺形、先は浅く5裂。葯には棘状の2個の突起がある。蒴果は扁球形。

サワリソウ

ムラサキ科

Ancistrocarya japonica Maxim.



県内分布：丹沢、箱根

生育環境：林内

生活型：多年草

特徴：県絶滅危惧Ⅱ類。茎は叉状に分枝し、高さ 30～50cm で短圧毛がある。葉は広い倒披針形で先端は尖り、葉の基部はしだいに細くなり、全縁。葉の上面には細突起がありざらつく。3～5 対の側脈は先が結合する。

タンザワイケマ

キョウチクトウ科

Cynanchum caudatum (Miq.) Maxim. var. *tanzawamontanum*
Kigawa



県内分布：丹沢

生育環境：明るい河原やがれ場、林内、林縁

生活型：多年草

特徴：アルカロイドを含む有毒植物。花冠裂片が反り返らずに斜上する。また、花はやや小さく、葉の基部の湾入が浅く開口部が広い傾向にあり、花冠裂片の緑色がやや薄い。花期は7～8月。チョウのアサギマダラの食草。

キジョラン

キョウチクトウ科

Marsdenia tomentosa C.Morren et Decne.



県内分布：小田原～湯河原、三浦半島

生育環境：林内や林縁

生活型：つる性木本

特徴：茎は分枝して他の植物によく絡む。葉は対生で基部は円形～浅い心形となる。花期は8～10月。チョウのアサギマダラの食草。

ガガイモ

キョウチクトウ科

Metaplexis japonica (Thunb.) Makino



県内分布：丹沢の高所を除く全域

生育環境：路傍やえん堤わきの明るい草地

生活型：多年草

特徴：茎は根元から蔓となり他の植物によく絡む。葉は卵形で長さ5～10cm、裏面はやや白い。花期は8月頃。花冠は星形に裂け、外に反り返る。傷つけると白い乳液が出る。

Scopolia japonica Maxim.



県内分布：東丹沢、小仏山地

生育環境：沢沿いの湿った林内

生活型：多年草

特徴：アルカロイドを含む有毒植物。横にはった太い地下茎がある。全体に無毛で柔らかい。葉は長楕円形で長さ6～15cm、全縁または先の方に数個の荒い鋸歯があり、柔らかく両面ともに無毛。花は4～5月。葉腋に単性。花冠は鐘形で長さ約2cm、外面は暗赤紫色で内面は黄緑色。

Tubocapsicum anomalum (Franch. et Sav.) Makino



県内分布：全域

生育環境：林縁

生活型：多年草

特徴：全体に無毛で軟らかい。高さ 60～90cm、葉は卵形で全縁または波状縁。花は 8～9 月。花冠は黄白色で直径約 8mm。液果は直径 8～10mm の球形で赤く熟す。

メハジキ

シソ科

Leonurus japonicus Houtt.



県内分布：丹沢、三浦半島、川崎市～横浜市

生育環境：荒地、路傍、草地、林縁

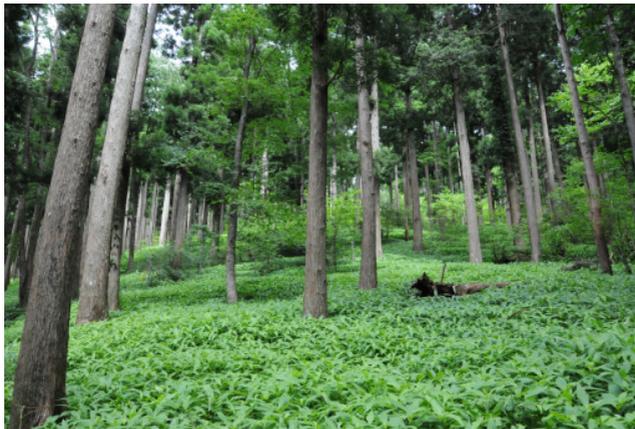
生活型：多年草

特徴：茎は直立し、高さ 50～100cm、下向きの毛が密生する。根生葉は長い柄があり、葉身は卵形で浅裂し、花時には枯れる。茎葉は短い柄をもち、表面は白毛が点在し、裏面には密生する。花は 7～9 月。

テンニンソウ

シソ科

Leucosceptrum japonicum (Miq.) Kitam. et Murata



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：湿った林内や林縁

生活型：多年草

特徴：高さ 50 ～ 100cm。葉は長楕円形または広披針形、長さ 5 ～ 30cm、幅 1.5 ～ 7cm。花は 8 ～ 9 月。茎頂に多数の花からなる長さ 5 ～ 15cm の花穂をつける。苞は広円形で長さ 4 ～ 5mm、幅 4 ～ 6mm で先端がやや尾状にのびる。

Perilla citriodora (Makino) Nakai



県内分布：丹沢、箱根、三浦半島

生育環境：林縁

生活型：多年草

特徴：高さ 50～90cm。植物体の一部をもむと強いレモン様の匂いがする。

葉の鋸歯はやや鋭い。葉身基部には鋸歯がなく、広くさび形である。葉柄や葉の裏面は紫色を帯びることが多い。花期は 9～10 月。本種を含むシソ属植物（シソ、エゴマ、トラノオジソ）は同様に不嗜好性である。

シロヨメナ

キク科

Aster ageratoides Turcz. var. *ageratoides*



県内分布：全域

生育環境：林内や林縁

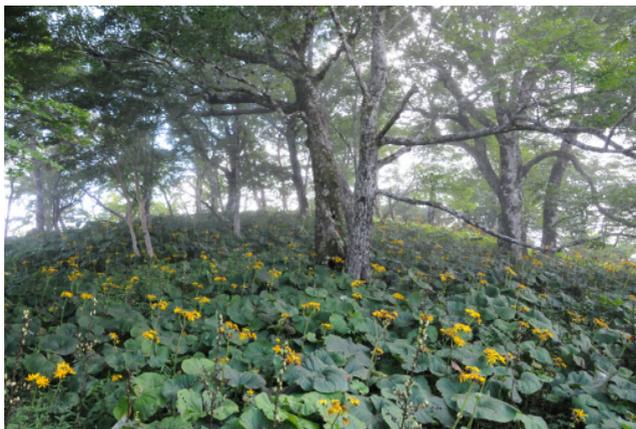
生活型：多年草

特徴：横走する地下茎がある。茎は直立またはやや斜めにでて、やや紫色を帯びる。高さ 40～100cm。茎の葉は薄く、長楕円状披針形、長さ 10～15cm、幅 2～4cm、基部近くで急に幅が狭くなり、ほとんど無柄、粗い鋸歯があり、3脈が目立つ。花期は 9～11 月。

マルバダケブキ

キク科

Ligularia dentata (A.Gray) H.Hara



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：草原、明るい林内、林縁

生活型：多年草

特徴：茎は高さ 50 ～ 120cm。^{あか}垢状の毛がある。根生葉は長さ 20 ～ 30cm、幅 20 ～ 40cm、丸い鋸歯がある。花期は夏。

キオン

キク科

Senecio nemorensis L.



県内分布：丹沢、箱根

生育環境：林内や林縁、草地

生活型：多年草

特徴：高さ 50 ～ 100cm。花時に根生葉はない。茎の葉は長さ 10 ～ 20cm の披針形で、縁に細かい鋸歯がある。花期は 8 ～ 9 月。

採食耐性植物

ヤマカモジグサ

イネ科

Brachypodium sylvaticum (Huds.) P.Beauv.



県内分布：全域

生育環境：乾いた林縁、山道の端

生活型：多年草

特徴：稈の節には毛が密生する。葉鞘や葉身は有毛のことが多く、変化範囲が広い。葉身は反転し、光沢のある裏面が上を向く。花序は枝分かかれせず、先端は垂れる。花期は6～7月。スズタケが退行した後に地面が露出して、その後侵入、密生することが多い。春先の新葉がシカに採食されることもある。

Calamagrostis hakonensis Franch. et Sav.



県内分布：丹沢、箱根、多摩丘陵

生育環境：岩場、林内、林縁、草原

生活型：多年草

特徴：稈は高さ 20 ～ 70cm。葉身は基部がよじれて表裏反転することが多い。葉鞘口部の背を毛叢がとりまく。花期は 7 ～ 10 月。小穂は長さ 3 ～ 5.5cm で淡い黄緑色。ときに帯紫色。苞穎は同長。芒は護穎の基部近くから出る。基毛は小花の 2/3、ときに同長近くになる。

ウラハグサ

イネ科

Hakonechloa macra (Munro ex S.Moore) Makino ex Honda



県内分布：丹沢、箱根

生育環境：林内や林縁の岩上

生活型：多年草

特徴：斜上または垂れ下がって群生。葉の裏面が必ず反転し上面になって光沢がある。稈が節ごとにくの字に屈曲する傾向がある。花期は8～10月。基準産地は丹沢の大山。

Microstegium vimineum (Trin.) A.Camus



県内分布：全域

生育環境：林内、草地、路傍、水田際

生活型：一年草

特徴：稈は下部が不定根を出しながら地面をほう。葉身は狭披針形。花期は10月頃。小穂は長さ4～6mm。小穂柄にはややまばらに毛がある。護穎から長さ8～15mmの芒が伸びる。ヤマカモジグサと同様にスズタケなどが退行した後に侵入することが多く、密生する。

チヂミザサ

イネ科

Oplismenus undulatifolius (Ard.) Roem. et Schult.



県内分布：全域

生育環境：林内、林縁

生活型：多年草

特徴：葉身は狭卵形で基部は心形、縁は波をうつ。花期は8～10月。花序の主軸や葉身、葉鞘の毛の有無とその長さによりケチヂミザサとコチヂミザサに細区分される。

ミヤマクマザサ

イネ科

Sasa hayatae Makino



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：林内、林縁、草原

生活型：ササ

特徴：稈は高さ 50 ～ 150cm になるが、シカの強い採食圧にさらされると高さ 30cm 程度に矮小化する。上方で枝を分岐する。節は球状にふくれる。肩毛は放射状に開出する。葉の下面に毛が密生する。主に冬季と新葉の展開する 6 月頃にシカに採食される。

Persicaria nepalensis (Meisn.) H.Gross



県内分布：全域

生育環境：水湿地や畑

生活型：一年草

特徴：茎根元で分枝して地をはい、上部は斜上して高さ 30cm ほどになる。葉は卵状 3 角形で長さ 2 ～ 4cm、下部につく葉には柄に広い翼がつき、上部の葉には柄がなく茎を抱き、裏面には腺点がある。托葉鞘は薄く緑毛はなく、下向きの粗毛が密生する。花期は 6～9 月。

Persicaria posumbu (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross



県内分布：全域

生育環境：明るい林内、林縁

生活型：一年草

特徴：茎は根元がはって立ち上がり、高さ 30～60cm。葉は長さ 4～7cm で質が薄く、先は尾状にとがり、中央部には黒い山の形の紋様ができる。托葉鞘は長さ 5～7mm で筒部と同じくらいの長さの縁毛がある。花期は 8～10 月。

Persicaria debilis (Meisn.) H.Gross ex W.T.Lee



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：湿った林内、林縁

生活型：一年草

特徴：茎は根元から枝分かかれし、斜上または直立して、高さ 15～50cm になり下向きの刺がある。葉は 3 角形で、各頂点は漸尖形、質は薄く暗紫色で八の字形の黒い斑紋がある。葉身と中脈に粗い刺を散生。托葉鞘は長さ約 4mm で、ごく短い縁毛がある。花期は 7～8 月。

Potentilla hebiichigo Yonek. et H.Ohashi



県内分布：全域

生育環境：明るい林内、林縁、草地、田の畦

生活型：多年草

特徴：常緑性。全草小型、葉は黄緑色で質は薄い。花は直径 1.5cm 前後。

熟した偽果は径 8mm 前後となり、その表面は淡い白色で光沢はなく、細毛がまばらにある。

Pilea hamaoi Makino



県内分布：全域

生育環境：湿った明るい林内

生活型：一年草

特徴：茎は高さ 20～40cm で無毛。葉は長さ 1～5 cm、表面の主脈に直角の支脈がある。花被片は果実と同長かより長く、果実には褐色点がある。

ヤマミズ

イラクサ科

Pilea japonica (Maxim.) Hand.-Mazz.



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地、鎌倉

生育環境：湿った明るい林内、林縁

生活型：一年草

特徴：茎は高さ 10 ～ 25cm で無毛。葉は長さ 1 ～ 4cm、表面の主脈に直角の支脈はない。葉の先端は短く鋭く尖る。果実に褐色点はない。

クワガタソウ

オオバコ科

Veronica miqueliana Nakai



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地

生育環境：林内、林縁

生活型：多年草

特徴：茎は直立または斜上し、高さ 10～20cm。多細胞の縮毛がある。葉脈に花序をつける。果実は扁平な三角状扇形。

Hydrocotyle yabei Makino var. *yabei*



県内分布：丹沢、箱根、小仏山地、多摩丘陵

生育環境：湿った明るい林内

生活型：多年草

特徴：通常、チドメグサに比べて葉身の基部の両縁が離れぎみで、輪郭はやや楕円形である。両縁の開く角度や葉身の径（0.5～2cm）には変異の幅がある。ときに葉柄の最上部にのみ長毛があるが、葉身は常に無毛。花期は5～8月。

Cirsium spp.



県内分布：県内で 10 種が確認されており、分布が限られるものから全域にあるものまで種によりさまざま

生育環境：草地、林縁、林内、河原、砂礫地など種によって異なる

生活型：多年草

特徴：葉は互生し、羽状に裂けるか全縁で、刺がる。枝先に無柄または有柄の頭花を上向きまたは下向きにつける。花は淡紫色。交雑種を作りやすい。春先にロゼット葉、生育期に刺のやわらかい新葉がシカに採食されることがある。

参考文献

- 橋本佳延・藤木大介 (2014) 日本におけるニホンジカの採食植物・不嗜好性植物リスト. 人と自然 25: 133-160.
- 神奈川県植物誌調査会 (編) (2001) 神奈川県植物誌 2001. 1580pp, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 大場秀章 (編) (2009) 植物分類表. 513pp, アボック社, 鎌倉.
- 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 (2006) 神奈川県レッドデータ生物調査報告書. 442pp, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 高槻成紀 (1989) 植物および群落に及ぼすシカの影響. 日本生態学会誌 39: 67-80.
- 田村 淳・勝山輝男 (2007) シカの採食圧の異なる東西丹沢における林分構造と林床植生の差異. (丹沢大山総合調査学術報告書. 丹沢大山総合調査団編, 財団法人平岡環境科学研究所). 101-118.
- 田村 淳・永田幸志・小林俊元・山根正伸・栗林弘樹・瀧井暁子 (2005) 2003 年度神奈川県ニホンジカ保護管理事業に関する植生調査結果とモニタリング指標の考案. 神奈川県自然環境保全センター報告 2: 11-20.

参考 URL

- BG Plants 和名ー学名インデックス (YList)
http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html

種名索引（五十音順）

種名	頁	不嗜好／耐性	種名	頁	不嗜好／耐性
アザミ類	56	耐性	ハダカホオズキ	34	不嗜好
アシボソ	45	耐性	ハナタデ	49	耐性
アセビ	28	不嗜好	ヒトリシズカ	10	不嗜好
イワヒメワラビ	6	不嗜好	ヒメチドメ	55	耐性
ウラハグサ	44	耐性	ヒメノガリヤス	43	耐性
オオバアサガラ	27	不嗜好	フタリシズカ	11	不嗜好
オオバイケイソウ	13	不嗜好	ベニバナヤマシヤクヤク	18	不嗜好
オオバノイノモトソウ	7	不嗜好	ヘビイチゴ	51	耐性
オオバノハチジョウシダ	8	不嗜好	マツカゼソウ	25	不嗜好
オニシバリ	23	不嗜好	マルバダケブキ	39	不嗜好
ガガイモ	32	不嗜好	マルミノヤマゴボウ	16	不嗜好
キオン	40	不嗜好	ミズ	52	耐性
キジノオシダ	5	不嗜好	ミツマタ	24	不嗜好
キジョラン	31	不嗜好	ミヤマクマザサ	47	耐性
クワガタソウ	54	耐性	ミヤマシキミ	26	不嗜好
サワリソウ	29	不嗜好	ミヤマタニソバ	50	耐性
シキミ	9	不嗜好	メハジキ	35	不嗜好
シロヨメナ	38	不嗜好	メヤブマオ	22	不嗜好
タニソバ	48	耐性	ヤマカモジグサ	42	耐性
タンザワイケマ	30	不嗜好	ヤマシヤクヤク	19	不嗜好
チヂミザサ	46	耐性	ヤマトリカブト	15	不嗜好
テンナンショウ類	12	不嗜好	ヤマミズ	53	耐性
テンニンソウ	36	不嗜好	ヨウシュヤマゴボウ	17	不嗜好
ナガバヤブマオ	21	不嗜好	ルイヨウボタン	14	不嗜好
ナツトウダイ	20	不嗜好	レモンエゴマ	37	不嗜好
ハシリドコロ	33	不嗜好			

作成・編集

神奈川県自然環境保全センター研究連携課

編集協力

長澤展子（公益財団法人神奈川県公園協会）

イラスト（生育型）

長澤展子（公益財団法人神奈川県公園協会）

写真撮影

田村 淳

神奈川県シカ不嗜好性植物図鑑

2016年3月発行

発行 神奈川県自然環境保全センター



神奈川県 自然環境保全センター
〒243-0121 厚木市七沢657 電話046(248)0321